

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名称	栃木市おおひら歴史民俗資料館
	所在地	栃木市大平町西山田898-1
	施設内容	郷土の考古・歴史・民俗文化等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚と教育、学術及び文化の振興に寄与する歴史民俗資料館及び郷土資料館「白石家戸長屋敷」
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 自然と人間の森おおひら
	所在地	栃木市大平町西山田857
	主な業務内容	子供たちの森林環境教育や市民の自然体験に関する事業および都市と農山村の交流促進に関する事業

## (1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか					
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用者数（有料）			7,500名	6,511		
	利用者数（総数）			10,000名	8,585		
	施設案内配布数			10,000部	10,500		
	アンケート回収数			600(利用者の6%)	726(8.5%)		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅲ	0.6	15	Ⅲ	0.6	15
指定管理者コメント	郷土資料館は、昨年に引き継ぎ利用者の安全確保・快適な空間の提供をめざし、見学路のバリアフリー化、景観整備事業・無料休憩所の活用を行いました。利用者の意見収集はアンケート及び、職員による展示品等の説明を積極的に行う中で来館者の意見を収集し、展示企画に反映させています。入館者数については、前年実績の維持を目標にしましたが、15%減となりました。見学だけの県外の学校利用の減少と戸長屋敷利用のイベントの減少が挙げられます。反面、来館者の滞在時間が延び、昨年に続き地元市民の来館が増加したこと、季節による来館者の変動の平準化の傾向があり今後の期待要因と考えます。また、施設整備により、映画1本、ドラマ2本の撮影に利用されました。						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者は指定管理に移行後、確実に上昇しているが、平成26年度は前年度を下回ってしまった。</li> <li>アンケート調査等により、利用者の意見に常に注意しながら、資料の展示、企画展の内容などに気を配っていただきたい。</li> </ul>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価項目	①	事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	HP更新回数			年12回	年15回		
	協働事業実施数			3	10		
	協働事業参加者数			150名	約300名		
	自主事業数			12	17		
	施設修繕数			5	14		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>無料休憩所とクラフト楽活用により、学校団体のものづくり体験や、作品展会場・クラフト教室など地域住民の利用拡大に成果をあげています。今年度は開館時間を延長して大平町「光と音のページェント」の第二会場として「クリスマスイルミネーションとSP盤コンサート」の夜間イベントを開催しました。地域との連携・協働については、まちの駅ネットワークの事務局としての活動や市民団体との共催・協賛事業が昨年度に比べ大幅にアップしたため、参加者も計画の2倍に達しました。「ものづくり体験者数」は、前年比8%増、参加料は対予算比131%増となりました。自主事業については、イベント・協働事業8、企画展示4、出張クラフト2、無料休憩所運営、土産物販売、ワークショップ運営の計17事業を実施しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元に対する文化発信の基地として、平成26年度に全3回の「ふるさと講座」を新規に企画したことは評価でき、今後も継続していただきたい。</li> <li>・ 資料館としての本来の文化財展示や活動は、飽きられないように常に気を配っていただきたい。</li> <li>・ 資料館付設の「無料休憩所」と「クラフト楽」を活用することは、集客サービスの向上のみならず、地域住民との関係強化にも成果をあげており、大変評価できる。今後も継続していただきたい。</li> </ul>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価項目	①	指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	②	経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③	清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④	建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	経費削減額(委託業務)		50,000円		72,855		
	経費削減額(消耗品その他)		10,000円		▲8,657		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	再委託業務については、昨年に引き継ぎ庭園整備は職員が行い、コストをおさえながら外周見学路の維持、竹林整備を行い、利用者から好評を得ています。その他の再委託業務については、改善点を指摘し、委託業務の確実な実施を条件に、昨年と同一の業者に委託しました。特に、火災通報装置については昨年に続き、見直しを行い、消防と協議の上撤去、費用を削減しました。照明については、無料休憩所の蛍光灯をLEDに交換し、新蔵の照明をセンサースイッチに変更し利用時のみの点灯にした。また、不要電灯の消灯など省エネに努めながら、展示ケースの照明は照度向上を進めています。						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園の整備を職員が行うことで、施設整備のコストを抑えていることや、省エネ意識が高いことは評価できる。</li> <li>・省エネは必要ではあるが、入館者と展示資料に係る温度と湿度の管理には十分注意していただきたい。</li> </ul>						

(4) 施設の管理を安定して行う能力						
評価項目	①	管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか				
	②	職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか				
	③	健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか				
	④	財政状況に異常はないか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			3名/日	3.5名/日	
	勤務時間数			平均7.75時間/日	平均7.75時間/日	
	研修会参加者数			1名	3名	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>           昨年の体制を維持し、職員は正職員・パート職員を合わせ6名が通常業務、NPO理事2名が運営にあたり、平日は最低3名/日の勤務体制を、土日祝日および団体向けもの作り体験対応時・イベント開催時には4名～8名（ものづくり講師サポート含む）を配置。また、指定管理運営経験者、所蔵品に対する専門家などを顧問として配置、管理能力の強化を図りました。職員の研修については、OJTによる指導に努め、利用者への挨拶・声掛けなど一定の成果を上げていると思います。舟形木棺のメンテナンス方法について（株）東都文化財保存研究所安藤主任より3名が講習を受けました。社会保険は、法令通り該当者について加入、源泉税・消費税も適正に支払いをし、財政状況についても正常に運営していると考えます。         </p>					
施設所管課コメント	<p>           ・職員全員で業務運営にあたっており、週末やイベント開催時の繁忙期においても、有効に対応している。            ・また、経験者、専門家などを活用することで、質の向上も図られている。今後も継続していただきたい。         </p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価項目	①	① 日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	消防訓練実施数			年2回	年2回	
	マニュアル更新件数			1件	1件	
	段差のスロープ化			2ヶ所	3ヶ所	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1	20	I	1
指定管理者コメント	<p>防災訓練は年2回実施、特に、本年は教育委員会との共催、大平消防分署の協力により、地域住民も参加し「文化財防火デー」のイベントとして、市内初の消防による放水訓練を行いました。事故防止対策は、昨年引き続き見学路の整備の中で、段差の解消、立ち入り禁止区域の柵設置とハチ・ヘビの忌避剤の散布を行っています。段差の解消については、3ヶ所のスロープをコンクリート舗装し、戸長屋敷見学路は介助者付きの車椅子で見学できる環境になりました。個人情報については、現状団体予約など限定的ですが、管理マニュアルの修正を行い、収集目的以外の使用禁止など管理体制の強化を進めています。また、危機管理マニュアルについては、地震発生時の来館者誘導の見直しを行い、館内放送マニュアルを更新しました。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に対する訓練として、防災訓練や放水訓練を行ったことは評価できる。今後も危機管理マニュアルの徹底をお願いしたい。</li> <li>・また、日常的に施設整備を行い、事故防止に努めていることは大変評価できる。</li> <li>・個人情報保護などについても、常に注意していただきたい。</li> </ul>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	15	15
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	20
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	90	90
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
		91		
選定委員会コメント				

## (4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

## ④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成27年3月期	平成26年3月期	平成25年3月期
資産総額	1,068,998	1,203,400	1,774,263
売上高	26,525,370	26,327,398	25,470,708
経常利益	163,658	4,016	124,808
当期利益	163,658	4,016	124,808
経常収支比率	100.6%	100.0%	100.5%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成27年3月期	平成26年3月期	平成25年3月期
経常費用	26,361,712	26,323,382	25,345,900
経常収益	26,525,370	26,327,398	25,470,708
経常収支比率	100.62%	100.02%	100.49%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

指定管理者コメント